

令和 6 年度 地域生活支援拠点等ネットワーク調整コーディネーター活動報告

概要	地域において安心して自立した日常生活又は地域生活を営むことができるよう、関係機関の有機的な連携のもとで地域生活障害者等に対する支援の実施			
拠点数	葵区	駿河区	清水区	計
	20	3	12	35
今年度の 主な取組	機能	主な取組	成果	今後の取組予定
	相談	①相談支援体制が十分に整備されていない地域での出張相談会の開催	①委託相談支援事業所、地域包括支援センター、社会福祉協議会等の各分野からの協力を得ることにより、相談機会の地域格差減少に繋げるとともに、他機関連携の機会を定期的に実践することができた。	①開催地域により相談者のばらつきはあるが、他機関による相談会という機会により、参画機関の事例相談の機会にもなっている。しかし、対応する事業所の負担等も課題であり、開催日時や曜日、場所や方法、頻度など、検討の上実施する。
		②機能強化加算取得に関する説明会の実施	②令和 6 年 4 月の報酬改定等により、加算取得についての説明会よりも、拠点としての登録の説明の必要性が生じた。しかし、前年度から加算取得を目指した事業所が加算を得られるようになり、相互スキルアップにつながる動きが出始めた。	②令和 6 年 4 月以降に新たに加算取得ができた事業所の経験を共有する機会をつくりつつ、事業所同士の相互スキルアップにつながる取組みを実施する。
	緊急時の受け入れ・対応	短期入所空床情報共有ツールの運用	短期事業所への空床ツール入力の働きかけ（連絡会での趣旨説明や毎月 2 回の入力依頼メール）を継続した結果、入力率が 6 割を超えた。緊急時、平時共に計画・委託相談事業所に空床情報共有ツールが活用されるようになった。	より多くの短期入所事業所と計画・委託相談事業所にツールが周知され、更に積極的に活用されるように、周知チラシを作成し配布する。短期入所事業所・計画相談事業所に対する、アンケートを実施して効果測定を行う。
	体験の機会・場	グループホーム連絡会、入所施設連絡会の定期的な開催、運営補助	両連絡会と地域移行支援部会 WG とで連携を図り『地域移行勉強会』を開催。地域移行についての理解を深める機会を設けることができた。各連絡会に他事業の職員が参加し施設見学等を行う事でお互いの事業の理解促進を図った。	今後も他事業の内容を知る機会として、他のサービスの事業所見学会を開催する。地域移行については引き続き両連絡会、地域移行支援 WG とで連携を図ると共に、他の関係機関とも共同していく機会（勉強会・座談会等）の開催を検討していく。

	<div data-bbox="308 640 453 752"> <p>専門的人材 の確保・ 養成等</p> </div> <div data-bbox="477 118 740 190"> <p>①移動支援従事者養成研修の開催</p> </div> <div data-bbox="764 118 1118 427"> <p>①年 2 回実施。9 月の 1 回目では 31 人が修了した。カリキュラムの一部を変更、支援者と当事者それぞれの目線の学びに繋がる内容とした。またマッチング会の開催により、修了生が事業所登録に繋がりがやすくなった。</p> </div> <div data-bbox="1142 118 1469 667"> <p>①地域の課題であるヘルパー不足解消には、事業所も就労側にも単価が低く、解決しにくい課題があり、今後の研修目的などへの検討は必要ではあるものの、引き続き本研修の修了者を一定数増やしていくことにより、一人でも多くの方が移動支援に従事するよう努める。特に事業所の協力を得てのマッチングの機会を、開催のタイミング等を熟慮の上、実施したい。</p> </div> <div data-bbox="477 716 740 828"> <p>②強度行動障がい支援者フォローアップ研修の開催</p> </div> <div data-bbox="764 716 1118 1227"> <p>②12 月に研修を開催。全参加人数 61 名（動画と演習 29 名、動画 32 名）広報先や研修内容の再検討により、例年を上回る応募があった。PT メンバーやサポート事業を受けている事業所の協力もあり、より専門的な研修内容になった。また、事前に動画視聴をすることとしたことにより、研修当日に演習の時間を十分に確保しつつ、研修当日に参加できない方にも学びの機会を創出した。</p> </div> <div data-bbox="1142 716 1469 1227"> <p>②県開催の基礎研修・実践研修のフォローアップに繋がる取組み、地域でアドバイスや支援できる支援者の育成が今後も継続した課題となる。市の体制整備で、PT が発足したこともあり、研修運営含めた専門的人材育成の運営方法の検討も重要で、これまでの取組みを参考としつつ、PT による検討のもと、新たな取組みとなる予定。</p> </div>
<div data-bbox="323 1666 437 1738"> <p>地域の 体制づくり</p> </div>	<div data-bbox="477 1288 740 1440"> <p>静岡市障害者自立支援協議会 地域生活支援部会関連会議の開催</p> </div> <div data-bbox="764 1288 1118 2112"> <p>地域生活支援部会の事務局を担い 6 月と 11 月に事務局として運営を行った。協議会課題として地域移行支援部会と地域生活支援部会の統合について協議が行われた。まいむまいむの面的整備にかかわる取組みは、地域移行支援部会とも関連が深く、相互において協同する体制が望ましいと感じている。また、これまで日中サービス支援型 G H 評価委員会は、地域移行支援部会部会員とも協同し取り組んできたこともあり、統合編成があることは、今後静岡市の地域生活支援拠点を拡大させるきっかけになると考える。そのため、今回の協議内容が進むことは、地域の支援体制づくりの機能の拡大にもつながることだと感じている。</p> </div> <div data-bbox="1142 1288 1469 1758"> <p>これまで地域生活支援拠点による地域の体制づくりを進める困難さも感じながら広報活動や他分野との協同に積極的に活動を進めてきたため、今後の自立支援協議会での議論が前向きに進むことを望んでいる。今後は、これまで以上に行政機関や事業所などと協同しながら地域生活支援拠点コーディネーター業務を担っていきたい。</p> </div> <div data-bbox="1142 1805 1469 1995"> <p>また、新たに拠点等関係加算取得勉強会や拠点等登録事業所研修等により、地域全体の支援力を向上させる。</p> </div>

(令和7年1月時点)

	法人名	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	サービス種別	拠点として担う機能				
							相談	緊急時の受け入れ	体験の機会・場	専門性	地域の体制づくり
1	社会福祉法人 玉柏会	すずらん	424-0932	静岡市清水区南岡町3-7	054-340-3565	相談支援 (計画・障害児) 地域移行支援 地域定着支援	○				
2	一般社団法人 歩	相談支援 彩芽	420-0035	静岡市葵区七間町5番地の1 チサンマンション七間町408号	054-255-0075	相談支援 (計画・障害児)	○	○			
3	特定非営利活動法人 ひまわり事業団	ピアサポート	422-8006	静岡市駿河区曲金五丁目4-58	054-270-6410	相談支援 (計画)	○				○
4	特定非営利活動法人 清水障害者サポート センターそら	清水障害者サポ ートセンターそら	424-0114	静岡市清水区庵原町219-18	054-366-7781	相談支援 (計画・障害児)	○				
5	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 静岡県済生会	障害者生活支援 センター城東	420-0846	静岡市葵区城東町24番1号	054-249-3222	相談支援 (計画・障害児)	○				
6	社会福祉法人 静岡市しみず社会福祉事 業団	障害者相談 支援センター わだつみ	424-0905	静岡市清水区駒越西二丁目10-10	054-335-1031	相談支援 (計画・障害児)	○				○
7	社会福祉法人 小羊学園	アグネス静岡	420-0805	静岡市葵区城北117	054-249-2833	相談支援 (計画・障害児)	○	○		○	○
8	レディース合同会社	相談支援 よろづ屋	424-0886	静岡市清水区草薙132-15	054-340-1217	相談支援 (計画・障害児)	○				○
9	社会福祉法人 花園会	百花園	424-0401	静岡市清水区中河内2780番地	054-395-2621	生活介護 短期入所 施設入所支援 就労継続支援B		○	○	○	
10	社会福祉法人 花園会	宮前ロッヂ	424-0881	静岡市清水区楠150番地の1	054-344-3555	生活介護 短期入所 施設入所支援		○	○	○	

[illegible]